

## 身近な税

北広島市東部中学校 二年 山口 瑚心

税とは、簡単にいうと社会と支え、作っていく会費のようなものです。

私達中学生でも、なにかものを買ったときに「消費税」という税を納めています。今、消費税には十％の「標準税率」と八％の「軽減税率」という二種類の税率が存在します。

十％の標準税率は、医療費や日用品など、八％の軽減税率は、酒類や外食を除く飲食料品・新聞が対象となっています。

国民からは「物価高」「減税してほしい」などの声がたくさんテレビで取り上げられ、私たちの耳にも入って来ることがあります。増税は、私達の負担が増え、生活に影響します。なので、ほとんどの人は増税に対してあまりいいイメージを持っていないと思います。しかし税金は、私達が住んでいる街をよりよくするために集められ、様々な公共サービスとして国のためにも使われます。それに、税によって国や自治体の収入が増え、私達の生活が支えられ、豊かになることにつながるので、増税が良くないことは、言い切れません。

例えば、身近なものでいうと、お年寄りに与えられている年金、道路や橋の整備。私達が通っている学校でも、机や椅子、校舎などのたくさんものに税金が使われ、税金に支えられています。では、なぜ増税されるようになったのか。増税され、その税金が今までより多く集められるようになったのは、学校や病院、道路を作ったり直したりするお金がいるからというのが理由の一つに入っていると考えました。自分たちの負担を減らすには、今の自分達にできることを見つけ、取り組んで行く必要があると思います。

まず最初に、ゴミを減らす・リサイクルをするいうことを思いました。ゴミの処理や焼却には大きなコストがかかります。省エネ・資源を大事にすると、自治体の支出も減ります。また、私達が通っている学校の校舎を建てたり、修理したりするのにも税金が使われています。なので、学校で使われている椅子や机、校舎自体を大切に扱うことも、税金を無駄に使うことを避けられるので、間接的に減税に関わります。さらに、それらを実行することで、私達から集められた税金を使うことがほんの少し減ることの他にも、街が綺麗になり私達も住みやすくなります。

このように税金は、私達の生活や街を支える大切なお金です。増税によって私達国民の負担は増えますが、学校や道路、年金などに使われ、私達の生活を豊かにしてくれます。私達にできる減税に近づくためには、ゴミを減らす、リサイクルをする、学校の椅子や机、校舎を大切に扱うなどのことです。小さな心がけでも税金の無駄を減らし、街や生活をより良くすることにつながります。私は、今回税について調べ、まとめたことをきっかけに、自分で考えたことに取り組んでいこうかなと思いました。